

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日 定時株主総会・期末配当 中間配当	毎年3月31日 毎年9月30日
公告方法	当社ホームページ http://www.nkkswitches.co.jp/において、電子公告いたします。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に公告いたします。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

- ・住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について  
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・未払配当金の支払いについて  
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・「配当金計算書」について  
配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。  
なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。

## NKKスイッチズ株式会社

### ■お問い合わせ

〒213-8553 神奈川県川崎市高津区宇奈根715-1  
管理部：TEL.044 (813) 8026 FAX.044 (833) 5270

## 第61期報告書

平成25年4月1日 ▶ 平成26年3月31日

NKKスイッチズ株式会社



スイッチ分野で世界のトップを目指す——

事業拡大よりもお客様に信頼され、感動していただける差別化された  
特長ある企業を目指しています。

厳しい事業環境の中、前期実績をクリア。  
新たに「NKKスイッチズ」として、  
真のグローバル企業へと成長を目指します。

代表取締役社長

大橋智成



**この1年の産業用スイッチ業界の状況と、  
当期業績の概況をお聞かせください。**

2014年3月期における日本経済は、政府主導による経済政策や金融政策への期待感から企業収益の向上や消費回復の兆しが表れるなど、一部業界では景気が上向いてきております。

しかし、産業用スイッチ（操作用スイッチ）市場は民生品と異なり、市況に大きな動きは見られませんでした。一般社団法人日本電気制御機器工業会（NECA）によれば、2013年度の操作用スイッチの出荷総額は前年同期比で106.2%と数値的には回復傾向にありました。ただし、これは為替が急激に円安へ進んだことにより海外向けが120.4%と伸びた結果であり、国内向けは101.8%とほぼ横ばいでした。

こうした中、当社グループは中期経営計画「Quantum Leap Breakthrough」の最終年を迎え、「世界の産業用スイッチメーカー」へと成長するべく北米市場におけるシェアアップを最重要課題に掲げ、販売網の拡大に取り組みました。また、モノづくりの体制をさらに盤石なものにするために開発力・技術力・品質力の向上に努めました。地域別状況ですが、日本市場におきましては企業の投資意欲は旺盛とはいえない混沌とした状況が続く中、販売強化項目を中心に足で稼ぐ営業に努めましたが、売上高は前年同期比1.9%減とな

りました。北米市場におきましては販売強化項目の拡販に取り組みましたが、底堅さは感じられるものの厳しい市況が継続しており、現地通貨ベースで前年同期比7.4%減となりました。ただし、為替の追い風により連結売上高ベースは前年同期比11.7%増となりました。一方、中国市場におきましてはかつてに比べると成長が鈍化しているものの、いまだ高いレベルを維持しております。しかし、当社が拡販に努めている公共事業は経済政策の引き締めの影響があり、現地通貨ベースでは前年同期比17.7%減でした。ただし、こちらも為替の影響により連結売上高ベースは前年同期比0.5%減となりました。

このような結果、第61期における当社グループの連結売上高は74億5千9百万円（前年同期比3.6%増）、連結営業利益は今期より稼働を開始した新基幹システムの償却費が発生したこともあり、6億4千万円（同0.9%増）でした。結果としてはプラス成長ではありますが、為替の追い風による上乗せ分を除けば胸を張れる業績ではありません。大いに反省の残る1年となりました。

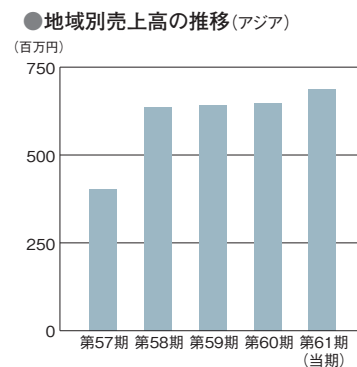
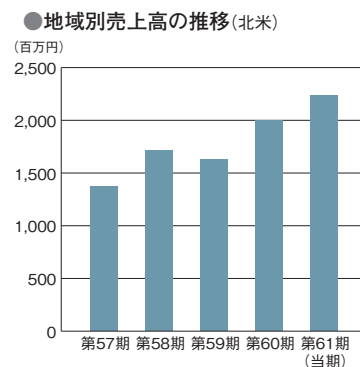
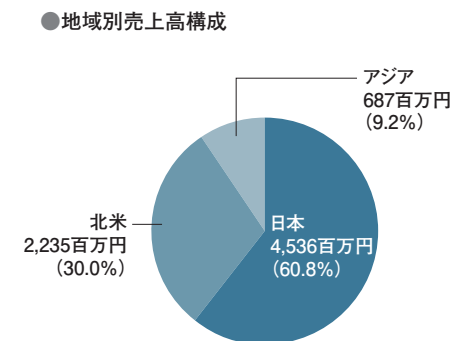
**中期経営計画の最重要課題の業績については  
いかがでしたか？**

第61期は、3カ年にわたる中期経営計画「Quantum Leap



Breakthrough」の最終年度でした。最優先課題として北米市場のシェアアップを掲げ、ローカルディストリビューター（LD）から、グローバルディストリビューター（GD）、さらにはカタログディストリビューター（CD）へと販売網を拡大させております。ここ数年はGDが順調に売上を伸ばしてまいりましたが、今年度は市況の冷え込みの影響をまともに受けマイナス成長となりました。一方で、お客様のデザインエンジニアリングレベルで新規デザインへのNKK商品の採用を増やすべく世界販売契約を結んだCDや地域密着型のLDの売上は好調でした。しかしながら、GDの落ち込み幅をカバーするには至らず、2014年3月末時点での北米市場のシェアは、現時点で最終的なパイを捉えられておりませんが目標である10%には一步及ばないものと考えております。また、IS（多機能操作スイッチ）シリーズは、特に欧州市場において販売が好調だったことから、前年同期比で2桁成長となりました。タッチパネルにつきましては、生産ラインの能力の関係もありほぼ横ばいで終わりましたが、案件自体は増加傾向にあり、また現在タッチパネルをはじめ生産に関する構造改革を推進しており、生産能力を増強する予定ですので、今後に期待が持てます。特注品はGDが不調だったことの影響を強く受けた結果、マイナス成長となりましたが、再度テコ入れを図ってまいります。

## ■ 地域別売上高の推移



## 新基幹システム「ANSWER」の運用により、納期遵守率は上がりましたか？

おかげさまで、販売代理店様、組立・部品協力会社様ともにきわめて順調という評価をいただいております。以前の「NEEDS」ではお客様からの希望納期に基づいて計画生産を行い、受注後速やかに供給することを目指したものでしたが、すべてが目論見通りとはいきませんでした。今回の「ANSWER」は、いくつものパラメーターからなる精度の高い計画生産をメインに、お客様からの希望納期と当社事情を踏まえた実現可能な最速納期を算出し、コミットした納期に関しては必ずその納期を遵守するというものです。サービスインから1年弱を経過した2014年3月末の時点で、回答納期遵守率は98%に向上しました。今後はさらに上を目指し、「コミットした納期は必ず守る」というイメージを定着させたいと思っております。

## 本年3月に発表された新商品の評判はいかがでしたか？

今回は創立60周年を記念し、東京、名古屋、大阪、福岡で約600名のお客様をお招きして新商品発表会を行い、3種

類の新商品を披露しました。「YB2ハーフミラーボタン」は、高級感のあるフラットなステンレス調ながら照光時と非照光時の二面性を備えた防水形照光式押ボタンスイッチ、「VS01シリーズ」は、強力なアークを安全かつ確実に遮断する全モールド直流専用小型スイッチ、「フルスクリーンIS」は、スクリーン周囲の枠をなくすことで1枚の大きなスクリーンとして機能させる、有機ELディスプレイを利用した押ボタンスイッチです。いずれも業界初はもとより世界初の商品であり、大変好評でした。その意味で今回の新商品発表会は、他社が真似することのできないNKKの圧倒的な技術力を再確認していただく良い機会となりました。今後も、お客様に驚きと感動を与えるスイッチを世の中に投入していきたいと考えております。

## 来期の事業環境をどのように見ていらっしゃいますか？

第61期と同等、もしくは若干プラスになると予想しております。あとは、北米市場、中国市場の市況がどこまで回復するかが気になるところです。当社グループは北米市場を中心に、新たな顧客の開拓・獲得のためCDと販売契約を締結し、この動きがGDに波及していくことを期待して、市況が冷え込む中でも売上を伸ばしていく所存です。また、アジアにおきましてはこれまで中国市場中心に営業活動を行ってまいりましたが、中国市場のみに依存することなく、韓国やインドなどにも販路を拡大する方針です。当社グループといたしましては、さらなる成長のために次の策を大胆に打ってまいります。

## 新たに始まる中期経営計画の概要を、お聞かせください。

当社グループは第62期（2015年3月期）より3か年にわたる新中期経営計画「Accomplish100」を掲げました。「Accomplish」とは、日本語訳すると「なんとしても成し遂

げる・達成する」という意味であり、「100」は「連結売上高100億円達成と各目標課題100%達成」という意味を掛けたものです。北米市場を中心としてさらに世界に視野を広げ、社員一人ひとりが計画を成し遂げる執着心をこれまで以上に持って業務遂行し、さらなる競争力と体質の強化に尽力してまいります。新たな中期経営計画の柱として、大きく以下の3項目を掲げていきます。

- ①グローバル化・ボーダーレス化に対応するため、CDをキーにインターネットを通じたグローバルセールネットワークの実現を目指してまいります。
- ②従来からの当社グループの強みである品質力・技術力を活かし、今までにないスイッチの姿を創造してまいります。
- ③グローバル市場における競争力を確固たるものにするため生産に関するビジネスモデルを抜本的に見直し、生産体制の再構築を行ってまいります。

## 最後に、株主の皆様へのメッセージをお願いします。

当社は、2014年4月1日に60年間皆様にご愛顧いただいた日本開閉器工業株式会社という商号を「NKKスイッチズ株式会社」に変更し、併せてグループの名称を「NKK SWITCHES」に統一いたしました。これは、今後さらに進展するグローバル化、ボーダーレス化に対応し、世界で最も知られ、世界で最も好まれ、世界で一番選ばれるスイッチサプライヤーに必ずなるのだという思いから決断したものです。今後は世界においてNKKブランドの存在価値を高め、真のグローバルスイッチサプライヤーを目指して躍進していくことを誓うものです。

株主の皆様には、なにとぞこれまでと変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 60周年記念新商品発表会

おかげさまで当社は平成25年12月11日に創立60周年を迎えることができ、「スイッチ分野で世界のトップを目指す」というグループビジョンのもと、この創立60周年を記念した新商品を開発いたしました。

また、東京を皮切りに、名古屋、大阪、福岡の4都市で大々的に新商品発表会を開催しました。東京会場ではフリーアナウンサーの生島ヒロシ氏、大阪会場では元テニスプレーヤーの杉山愛氏のトークショーもあり、盛大に行われました。

発表会の冒頭、大橋智成社長は「スイッチ一筋で60年間発展し続けてこれたのも代理店様やエンドユーザ様など我々にかかわるすべての皆様のおかげです。今まさにグローバル化、ボーダレス化の時代の中、世界で最も知られ、選ばれ、好まれるスイッチサプライヤーになるために、平成26年4月1日からNKKグループの名称を『NKKスイッチズ』に統一いたします。企業理念である『Great Small Company』を目指して、今後も存在感を出していきます。」と挨拶させていただきました。



60周年記念として発表させていただきました新商品は、「有機ELディスプレイフルスクリーンカラーIS」[YB2ハーフミラーボタン]「全モールド直流専用小形スイッチVS01シリーズ」の3商品となり、効果的なアプリケーション事例など、デモを交えて紹介いたしました。

### 〈有機ELディスプレイフルスクリーンカラーIS〉



額縁を極限まで細くした世界最小クラスの有機ELディスプレイを採用し、独自の技術でフルスクリーン化を実現した商品です。

### 〈YB2ハーフミラーボタン〉



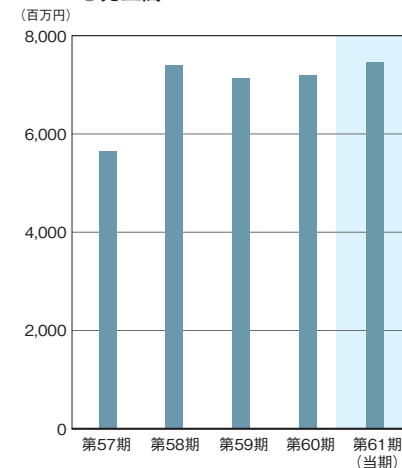
高級感あるステンレス調のボタンでありながらフィルム挿入対応により照光時に絵・文字を表示。防水形タイプでは業界最薄クラスのパネル前面高さで好評のYB2シリーズの操作部バリエーションです。

### 〈全モールド直流専用小形スイッチVS01シリーズ〉

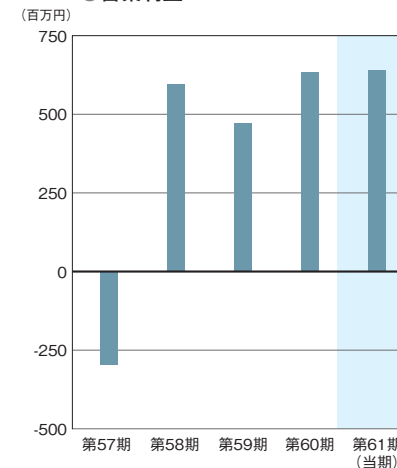


NKK独自の構造で高圧(DC)直流制御機器の操作作用として小形ながらDC420V15A(高容量タイプ)の遮断を実現。太陽光発電システムなど直流給電化社会を見据えた商品です。

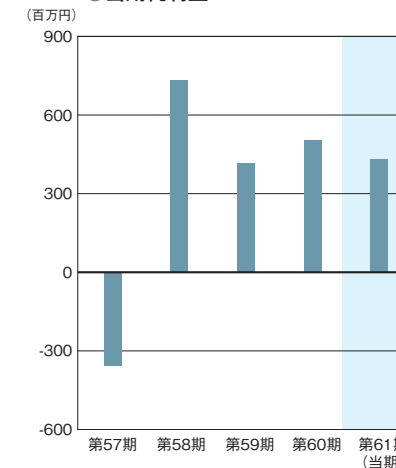
## ●売上高



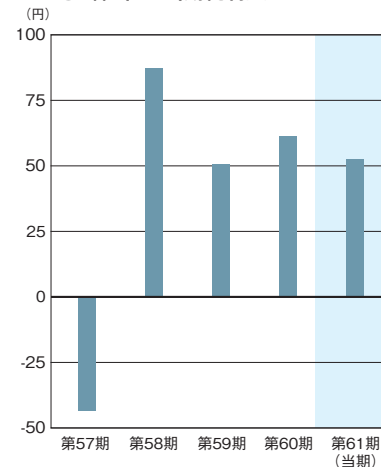
## ●営業利益



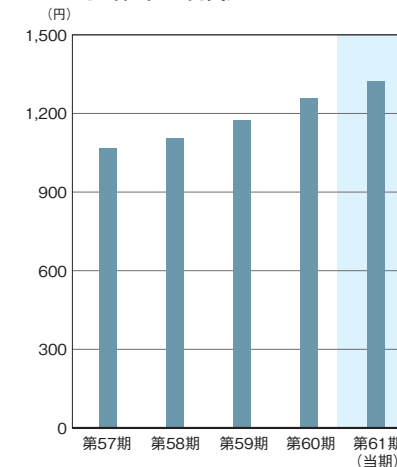
## ●当期純利益



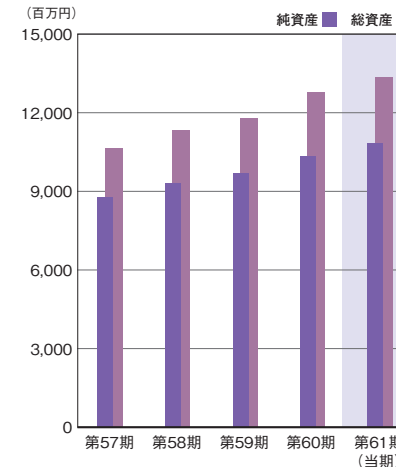
## ●1株当たり当期純利益



## ●1株当たり純資産



## ●純資産/総資産



## ■ 連結貸借対照表

(単位:千円)

科目	当期 (平成26年3月31日)	前期 (平成25年3月31日)
資産の部		
流動資産	10,003,716	9,488,445
現金及び預金	5,960,142	5,826,020
受取手形及び売掛金	1,473,704	1,361,974
商品及び製品	870,022	769,001
仕掛品	125,710	130,072
原材料及び貯蔵品	1,375,409	1,190,092
繰延税金資産	111,467	115,320
前払費用	29,100	38,632
その他	60,943	59,796
貸倒引当金	△ 2,783	△ 2,464
固定資産	3,350,672	3,272,953
有形固定資産	1,443,537	1,426,599
建物及び構築物	764,829	784,258
機械装置及び運搬具	95,785	102,347
工具・器具・備品	202,083	163,583
土地	378,130	374,149
建設仮勘定	2,708	2,260
無形固定資産	603,610	661,160
投資その他の資産	1,303,524	1,185,194
投資有価証券	927,350	816,954
長期預金	200,000	200,000
その他	176,173	168,239
資産合計	13,354,388	12,761,399

(単位:千円)

科目	当期 (平成26年3月31日)	前期 (平成25年3月31日)
負債の部		
流動負債	1,962,345	1,930,519
支払手形及び買掛金	1,226,269	1,223,469
未払法人税等	67,905	104,184
賞与引当金	96,588	100,500
役員賞与引当金	24,000	24,000
未払金	323,044	254,902
未払消費税等	5,220	8,130
未払費用	173,953	176,828
その他	45,363	38,503
固定負債	508,841	475,300
繰延税金負債	118,900	75,522
退職給付引当金	—	122,127
退職給付に係る負債	97,122	—
役員退職慰労引当金	175,900	162,200
その他	116,918	115,450
負債合計	2,471,186	2,405,820
純資産の部		
株主資本	10,759,974	10,426,613
資本金	951,799	951,799
資本剰余金	833,305	833,305
利益剰余金	9,134,361	8,799,736
自己株式	△ 159,491	△ 158,227
その他の包括利益累計額	123,227	△ 71,034
その他有価証券評価差額金	236,602	162,844
為替換算調整勘定	△ 113,375	△ 233,879
純資産合計	10,883,202	10,355,579
負債純資産合計	13,354,388	12,761,399

## ■ 連結損益計算書

(単位:千円)

科目	当期 平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで	前期 平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで
売上高	7,459,475	7,200,875
売上原価	4,346,917	4,382,347
売上総利益	3,112,558	2,818,527
販売費及び一般管理費	2,471,900	2,183,481
営業利益	640,657	635,046
営業外収益	92,922	86,797
営業外費用	25,323	22,807
経常利益	708,256	699,036
特別損失	6,843	17,582
税金等調整前当期純利益	701,413	681,453
法人税、住民税及び事業税	261,751	110,619
法人税等調整額	6,214	67,228
少数株主損益調整前当期純利益	433,446	503,605
当期純利益	433,446	503,605

## ■ 連結株主資本等変動計算書

(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

(単位:千円)

	株主資本				その他の包括利益累計額			純資産計	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定		その他の包括利益累計額合計
当期首残高	951,799	833,305	8,799,736	△ 158,227	10,426,613	162,844	△ 233,879	△ 71,034	10,355,579
当期中の変動額									
剰余金の配当	—	—	△ 98,821	—	△ 98,821	—	—	—	△ 98,821
当期純利益	—	—	433,446	—	433,446	—	—	—	433,446
自己株式の取得	—	—	—	△ 1,264	△ 1,264	—	—	—	△ 1,264
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	73,758	120,504	194,262	194,262
当期中の変動額合計	—	—	334,625	△ 1,264	333,360	73,758	120,504	194,262	527,622
当期末残高	951,799	833,305	9,134,361	△ 159,491	10,759,974	236,602	△ 113,375	123,227	10,883,202

## ■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科目	当期 平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで	前期 平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	475,922	792,075
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 321,150	△ 665,339
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 100,200	△ 108,653
現金及び現金同等物に係る換算差額	79,550	92,311
現金及び現金同等物の増減額	134,122	110,394
現金及び現金同等物の期首残高	5,826,020	5,715,625
現金及び現金同等物の期末残高	5,960,142	5,826,020



## ■ 貸借対照表

(単位:千円)

科目	当期	前期
	(平成26年3月31日)	(平成25年3月31日)
資産の部		
流動資産	8,554,903	8,364,322
固定資産	3,351,998	3,287,006
資産合計	11,906,901	11,651,328
負債の部		
流動負債	1,888,289	1,771,964
固定負債	449,196	414,736
負債合計	2,337,486	2,186,700
純資産の部		
株主資本	9,332,812	9,301,783
資本金	951,799	951,799
資本剰余金	833,305	833,305
利益剰余金	7,707,199	7,674,906
自己株式	△ 159,491	△ 158,227
評価・換算差額等	236,602	162,844
純資産合計	9,569,415	9,464,628
負債純資産合計	11,906,901	11,651,328

## ■ 株主資本等変動計算書

(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

(単位:千円)

	株主資本								評価・換算差額等		純資産合計		
	資本金	資本剰余金		利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他の証券評価差額金	評価・換算差額等	純資産合計				
		資本準備金	資本剰余金合計							利益剰余金合計			
当期首残高	951,799	833,305	833,305	181,917	25,684	5,600,000	1,867,304	7,674,906	△158,227	9,301,783	162,844	162,844	9,464,628
当期中の変動額													
剰余金の配当	-	-	-	-	-	-	△ 98,821	△ 98,821	-	△ 98,821	-	-	△ 98,821
固定資産圧縮記帳積立金の取崩	-	-	-	-	△ 1,076	-	1,076	-	-	-	-	-	-
当期純利益	-	-	-	-	-	-	131,114	131,114	-	131,114	-	-	131,114
自己株式の取得	-	-	-	-	-	-	-	-	△ 1,264	△ 1,264	-	-	△ 1,264
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	73,758	73,758	73,758
当期中の変動額合計	-	-	-	-	△ 1,076	-	33,369	32,293	△ 1,264	31,028	73,758	73,758	104,787
当期末残高	951,799	833,305	833,305	181,917	24,608	5,600,000	1,900,674	7,707,199	△ 159,491	9,332,812	236,602	236,602	9,569,415

## ■ 損益計算書

(単位:千円)

科目	当期	前期
	平成25年4月1日から平成26年3月31日まで	平成24年4月1日から平成25年3月31日まで
売上高	5,560,593	5,675,788
売上原価	3,547,153	3,711,333
売上総利益	2,013,439	1,964,455
販売費及び一般管理費	1,797,096	1,579,422
営業利益	216,343	385,032
営業外収益	104,971	134,141
営業外費用	77,862	8,030
経常利益	243,452	511,143
特別損失	6,843	17,582
税引前当期純利益	236,609	493,560
法人税、住民税及び事業税	78,792	20,601
法人税等調整額	26,701	78,081
当期純利益	131,114	394,878

## ■ 会社概要

商号	日本開閉器工業株式会社(注1) (NIHON KAIHEIKI IND. CO., LTD.)
創業	昭和26年4月1日
設立	昭和28年12月11日
資本金	951,799千円
従業員数	連結214名 単体152名
本社事務所	〒213-8553 神奈川県川崎市高津区宇奈根715-1
事業所	名古屋営業所 大阪営業所 福岡営業所
主な事業内容	産業用各種スイッチの製造・販売
連結子会社	横浜パイオニクス株式会社(注2) NKK Switches of America, Inc. 日開香港有限公司(注3) 恩楷楷(上海)开关有限公司
ホームページ	http://www.nkkswitches.co.jp/
上場取引所	東京証券取引所(JASDAQ)

(注1) 日本開閉器工業株式会社は、平成26年4月1日に商号変更を行い、NKKスイッチズ株式会社になりました。

(注2) 横浜パイオニクス株式会社は、平成26年4月1日に商号変更を行い、NKKスイッチズパイオニクス株式会社になりました。

(注3) 日開香港有限公司は、平成26年4月1日に商号変更を行い、NKK Switches Hong Kong Co., Ltd になりました。

## ■ 取締役および監査役

代表取締役社長	大橋 智成
常務取締役	市川 忠夫
取締役	青木 明裕
取締役	大橋 宏成
取締役	塚 正勉
取締役	大貫 一光
常勤監査役	中村 正
監査役	佐藤 悦雄
監査役	坂本 哲夫

## ■ 株式の状況

発行可能株式総数	26,000,000株
発行済株式の総数	8,425,200株
株主数	673名

## ■ 大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
有限会社ビッグブリッチ	1,320	16.03
株式会社三井住友銀行	410	4.98
株式会社三菱東京UFJ銀行	348	4.22
大橋 宏成	293	3.55
大橋 尚子	280	3.40
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	278	3.37
太陽生命保険株式会社	225	2.74
大橋 千津子	201	2.44
大橋 智成	192	2.34
富岡 友子	186	2.26

(注) 1. 当社は、自己株式を191千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## ■ 所有者別持株比率

